

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「佛説阿彌陀經」

慈光照護のもと、門信徒の皆様には心静かに新年を迎えられたことと思えます。本年もお互いにお念仏をいただいて生きる幸せを味わい、浄土真宗のみ教えと西光寺の護持発展に尽くしたいと念じるところであります。

さて、今年は年頭の記念として、佛説阿彌陀經のCDをお配りさせて頂いたことになりました。お経は西光寺の本堂で若院が録音いたしましたライブ盤(笑)です。また、次には佛説阿彌陀經の現代語訳の朗読が取められています。日頃阿彌陀經を聴かせていただいても、漢文で意味がわからないという方にも、なんとなくわかっていただけるのではないのでしょうか。おやすみの前などにお聴きいただくと、眠れないときでもすんなり寝られるかもしれません(笑)。どうぞお聴きください。なお、CDプレーヤーがない方にはカセットテープにします。また、あるけど操作がわからない方にはお教えいたしますので、

ますので、若院までご連絡下さい。再生できないトラブルがある場合もお願いいたします。

仏説阿彌陀經は『小經』とも呼ばれ、お釈迦様によつて舎衛国の祇園精舎で説かれたものです。大きく3つの部分に分かれ、はじめに極楽浄土のうるわしいすがたと阿彌陀

仏や聖者たちの尊い徳を示されます。次に、この浄土には自力の善では往生できないのであつて、一心に念仏することによつてのみ往生することができるので、終わりに、この念仏往生の法が真実であることを、東西南北、下方上方の六方の諸仏が証明しお護りくださることがのべられています。



### ※お経の中の言葉の説明

【劫】きわめて長い時間のこと  
【不退転】すでに得たさとりや功德、地位を決して失わないこと。

【舌相】仏の舌は広く長く、その顔面をおおうとされる。仏の説くところが真実であることを示している。

まだまだたくさん説明したいのですが、紙面の関係で割愛させていただきます。

### 「御正忌が厳修されました」

去る12月18日に親鸞聖人の御正忌がお勤まりになりました。昼座には10人、夜座には8人のお参りがありました(延べ人数)。ようこそそのお参りでございました。今年は坊守と若院だけでおぜんざいを作ったので、いろいろ問題もありましたが(笑)、皆様のご協力でなんとか法座を終えることができました。有り難うございました。

### 「春のお彼岸&本納骨式法座」

・日時 3月31日(日) 午後2時より  
・場所 西光寺本堂にて

寺の納骨堂の須弥壇に安置させて頂いている亡き方のお骨を、内部に納めさせていただきます。本納骨式を、平成22年以来3年ぶりに執り行います。該当するご門徒の皆様には改めてご案内いたしますが、ぜひお参りください。どうぞよろしくお願いいたします。若院が27日まで若狭のお寺に行つておりますので、お彼岸より遅くの開催になります。どうぞよろしくお参りいたします。